

DVDレコーダー 取扱説明書

準備ガイド | 接続/設定編

**DVR-DT100
DVR-DT90
DVR-DT70**



製品の特長や詳しい操作方法などについては取扱説明書/操作ガイド(別冊)をご覧ください。

この取扱説明書で使われているマーク



メモ
接続/設定するときの注意事項です。



ワンポイント
接続/設定するときの参考情報です。



例・ 例を使って説明しています。



『故障かな?と思ったら』
 操作ガイドP.136に
関連情報があります。

お取り扱いについてお困りのとき

カスタマーサポートセンター

【受付時間】

月曜～金曜 9:30～18:00、
土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00
(弊社休業日を除きます。)

0070-800-8181-22

一般電話 03-5496-2986

* フリーフォンおよびフリーダイヤルは、携帯電話・PHSからはご利用になれません。一般電話は、携帯電話・PHSからご利用可能ですが、通話料がかかります。

HDD
HARD DISK DRIVE

DVD
VIDEO/R/RW

**COMPACT
DISC**
DIGITAL AUDIO

RW
COMPATIBLE

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

G-GUIDE

G-CODE®

※Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。

米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

※Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社の日本国内における登録商標です。Gコードシステムは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。

もくじ

付属品の確認/B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する	2
内蔵ハードディスク(HDD)についてのご注意	3
安全上のご注意(絵表示について)	4

各部の名前とはたらき

本体前面部	6
本体背面部	8
本体表示窓	9

接続

地上デジタルアンテナ(UHF)と接続する	10
BS/110度CSデジタルアンテナと接続する /	
地上アナログアンテナ(VHF/UHF)と接続する	11
混合アンテナ端子と接続する	12
テレビと接続する	14
HDMI対応テレビと接続する	16
パイオニア製プラズマテレビ、地上/BS/110度CSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する	17
電話回線を接続する	18
ネットワークに接続する	20
ビデオと接続する(ビデオから本機にダビングするとき)	21
CATV(ケーブルテレビ)チューナーと接続する	22
他機器(AVアンプ、ビデオカメラ)と接続する	23

基本設定

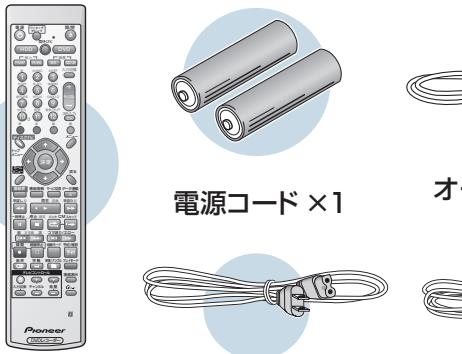
設定を始める前に	24
セットアップナビを使って基本的な設定をする	25
映っているチャンネルを確認する	28

地上デジタル放送放送局一覧	30
アナログ放送番組表対応放送局一覧	31
地域別地域コード・放送局一覧	32
ここが知りたい! <Q&A>	裏表紙

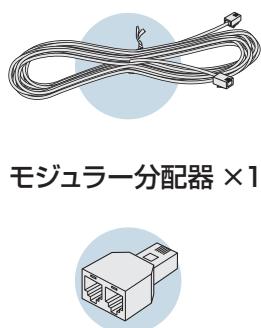
付属品の確認

保証書と同様に取扱説明書などは大切に保管してください。

リモコン ×1 単3形乾電池 ×2 RFアンテナケーブル ×1 モジュラーケーブル ×1



電源コード ×1

オーディオ・ビデオ
ケーブル ×1

モジュラーフェイサー ×1

その他一緒に入っているもの

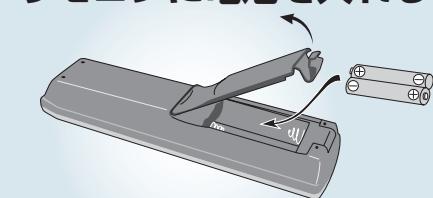
- ・かんたんガイド
- ・取扱説明書/準備ガイド
(接続/設定編)(本書)
- ・取扱説明書/操作ガイド(別冊)
- ・保証書
- ・B-CAS(ビーキャス)カード

下記



B-CASカードのパッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

リモコンに電池を入れる



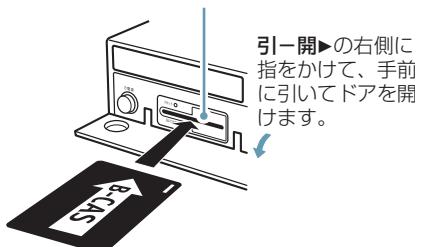
- ・乾電池を交換したとき、または乾電池が消耗しているときは『リモコンモード』(操作ガイドP.133)が[レコーダー1]に戻ることがあります。このようなときは、再度リモコンモードを設定してください。
- ・乾電池を交換したときにリモコンに設定したテレビのメーカーコードがお買い上げの時の設定に戻ることがあります。このようなときは、再度メーカーコードを設定してください。 操作ガイドP.132

B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する

デジタル放送(地上/BS/110度CS)は、B-CASカードがないと受信できません。必ず付属のB-CASカードを挿入してください。また、付属のユーザー登録ハガキをご覧になり、B-CASカードのユーザー登録をしてください(登録は無料です)。

B-CASカード挿入口

B-CASカードを表面の矢印の方向に、奥まで確実に挿入してください。



B-CASカードについてのお問い合わせ先

(株)ビース・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター
TEL: 0570-000-250

→ B-CASカードが読み取れないとき

- ・B-CASカード挿入口やB-CASカードにゴミなどが付いていないか確認してください。
- ・本機の電源をオフにしてからB-CASカードを抜き差ししてください。それでもB-CASカードが読み取れないときは、B-CASカードが故障している可能性があります。B-CASカードのカスタマーセンター 下記にご連絡ください。

→ 「B-CASカードに必要な情報がありません」と表示されたとき

- ・契約していないチャンネルを選局しています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターに連絡して、契約してから視聴してください。



- ・B-CASカードはデジタル放送の受信に必要な情報を記録するためのICカードです。
- ・有料チャンネル、ペイ・パー・ビュー(PPV)番組、NHKなどを視聴するときの契約情報がB-CASカードに記録されます。また、双方向通信サービスを利用するときも情報の照合のためにB-CASカードが必要になります。
- ・デジタル放送では番組の著作権保護のため「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。録画するためにもB-CASカードが必要になります。
- ・B-CASカードには有料チャンネルを契約したお客様の個人情報(住所氏名など)は記録されません。

内蔵ハードディスク(HDD)についてのご注意

本機に内蔵されているハードディスク(以下HDD)は非常に精密かつ繊細な機器です。使用状況や動作中の不用意な取り扱いによっては録画/録音内容が破損・消失したり、正常な録画再生動作が行えなくなります。また、修理の際、HDD等の交換により録画/録音内容がすべて消失してしまいますので、あらかじめご了承願います。下記の内容にご注意のうえ、正しくお使いください。

大切な録画内容について



内蔵HDDが故障すると、HDDの録画内容が損なわれます。

HDDは恒久的な保存場所ではありません。大切な映像・残しておきたい映像は、こまめにDVD-R/RWに保存してください。

何らかの不具合やHDDの故障による録画内容の損失やそれに附随した直接・間接的な損害につきましては当社は一切の責任を負いかねます。また、修理の際、HDD交換や初期化が必要になる場合がございます。その場合、HDD上の録画内容はすべて消失してしまいますので、あらかじめご了承ください。

設置や使用するときの注意

- ▼ 衝撃や振動を与えないでください。特に本機が動作中*はご注意ください。
- ▼ 振動する場所や不安定な場所に置かないでください。
- ▼ 水平以外の置き方をしないでください。
- ▼ 本機の冷却ファンや通風孔をふさがないでください。
- ▼ 温度や湿度が高い場所で使用しないでください。また、急激に温度が変化する場所でも使用しないでください。
- ▼ 電源がオン*のときに電源コードをコンセントから抜いたり、設置している場所のブレーカーを落としたりしないでください。



- ▼ 電源がオン*のとき、または電源をオフにした直後は本機を移動しないでください。移動するときは下記の手順で行ってください。
 - ① 電源をオフにする。
(電源ボタンを押して、本体表示窓の<POWER OFF>表示が消えたことを確認する。)
 - ② 2分以上経過してから電源コードをコンセントから抜いて本機を移動する。

*本体表示窓に<EPG>、<DOWNLOAD>、<DL>、<MAIL>、<TEL>、<RDY>と表示されているときを含む。

停電などが起きたときは

本機の動作中に停電などが起こると、内蔵HDDの録画内容が損なわれることがあります。

ハードディスクについて

- ▼ HDDは非常に精密な機器で、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となることがあります。
- ▼ 寿命が近くなると、部分的あるいは全体的に“再生映像が一時停止を繰り返す”または“再生時にブロックノイズ(部分的にモザイク状の映像)や映像の乱れが発生する”などといった症状が頻繁に発生するようになります。また、このような前兆なしに寿命となることもあります。
- ▼ 寿命になると記録してあった映像すべてが再生できなくなる恐れがあります。寿命で故障となった場合はHDD交換(有償)が必要です。
- ▼ 修理の際は記録してあった映像/音声が消えてしまいます。あらかじめご了承ください。
- ▼ HDDの最適化についての警告文がテレビ画面に表示されたときは、[HDDの最適化]をすると不具合を軽減できます。詳しくは 操作ガイド P.117 をご覧ください。

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、「取扱説明書／準備ガイド(接続／設定編)」(本書)および「取扱説明書／操作ガイド」(別冊)は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています



△の記号は、注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。



●の記号は、行動を強制したり指示する(必ず実行する)内容を示しています。



○の記号は、禁止(やってはいけないこと)を示しています。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- 電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。



- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 - あおむけや横倒し、逆さまにする。
 - 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - じゅうたんやふとんの上に置く。
 - テープルクロスなどをかける。



- 着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意：

付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属したもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。



警告 [異常時の処理]



- 万一煙が出てる、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

使用環境



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法



- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置



- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れる感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 本機を調理台や加湿器の近くなど油煙、湿気あるいはホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)



- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。



- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。



- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
→送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
→BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナは強風を受けやすいので、しっかりと取り付けてください。



- ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。

使用方法



- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。



- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。



- 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(+)/マイナス(-)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。



- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検



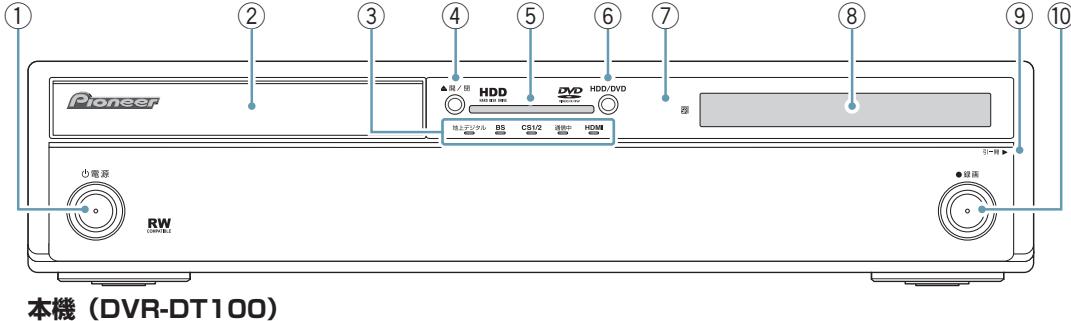
- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。



- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

各部の名前とはたらき

本体前面部



本機 (DVR-DT100)

① Ⓛ 電源

電源をオン / オフします。
電源がオンのときにボタン中央のインジケーターが青色に点灯します(DVR-DT100/DVR-DT90のみ)。

② ディスクトレイ

③ 地上デジタル

地上デジタル放送を選んでいるときに赤色に点灯します。

BS

BSデジタル放送を選んでいるときに赤色に点灯します。

CS1/2

110度CSデジタル放送(CS1/2)を選んでいるときに赤色に点灯します。

通信中

本機で電話回線を使用しているとき P.18 に赤色に点灯します。

HDMI

HDMIケーブルで接続されている HDMI 対応機器へ映像/音声信号を伝送しているときに赤色に点灯します。 P.16

④ ▲ 開 / 閉

ディスクトレイを開閉します。

⑤ HDD/DVD インジケーター

HDDが選ばれているときは青色に点灯します。DVDが選ばれているときはオレンジ色に点灯します。

⑥ HDD/DVD

HDDとDVDを切り替えます。

⑦ リモコン受光部

ここに向けてリモコンを操作します。

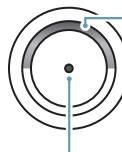
⑧ 本体表示窓 P.9

⑨ 引一開 ▶

ドアの右側に指をかけて手前に引いて開けます。

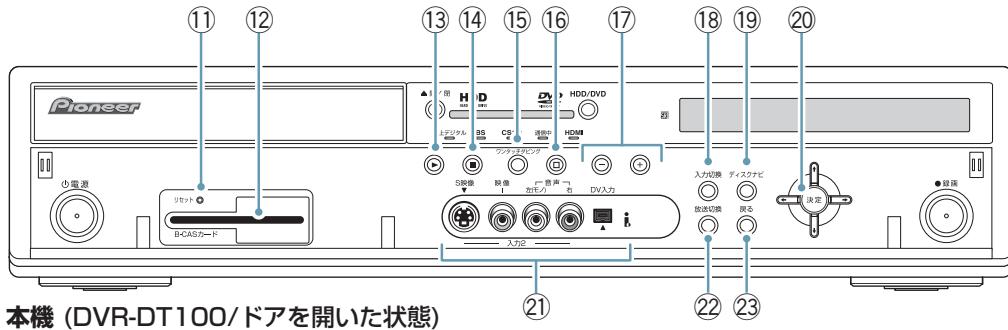
⑩ ● 録画

録画を始めます。



ダビング中はインジケーターがオレンジ色に点滅します。

録画中にインジケーターが赤色に点灯します(DVR-DT100/DVR-DT90のみ)。

**⑪ リセット**

正常に動作しないときに押します。リセットボタンをペンの先などで1回押してください。

⑫ B-CAS カード挿入口

B-CASカードにはデジタル放送の受信に必要な情報などが記録されますので、本機に挿入したままお使いください。B-CASカードがないとデジタル放送を視聴／録画できません。 P.2

⑬ ▶

再生を開始します。

⑭ ■

再生を停止します。

⑮ ワンタッチダビング 操作ガイド P.89**⑯ □**

録画を停止します。

停止中に3秒以上押すと「オートスタート録画」 操作ガイド P.54 を設定できます。

⑰ - +

停止中はチャンネルを切り替えます。

⑱ 入力切換

外部入力端子に接続した機器の映像を切り替えます。

⑲ ディスクナビ

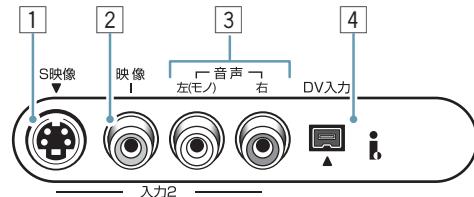
ディスクナビを表示／終了します。 操作ガイド P.66

⑳ ↑ ↓ ← →

項目を選ぶ、またはカーソルを移動します。

決定

項目を決定します。

㉑ 前面入力端子

① 入力2/S 映像

② 入力2/ 映像

③ 入力2/ 音声 左(モノ)・右

④ DV 入力

デジタルビデオカメラのDV端子と接続します。

P.23

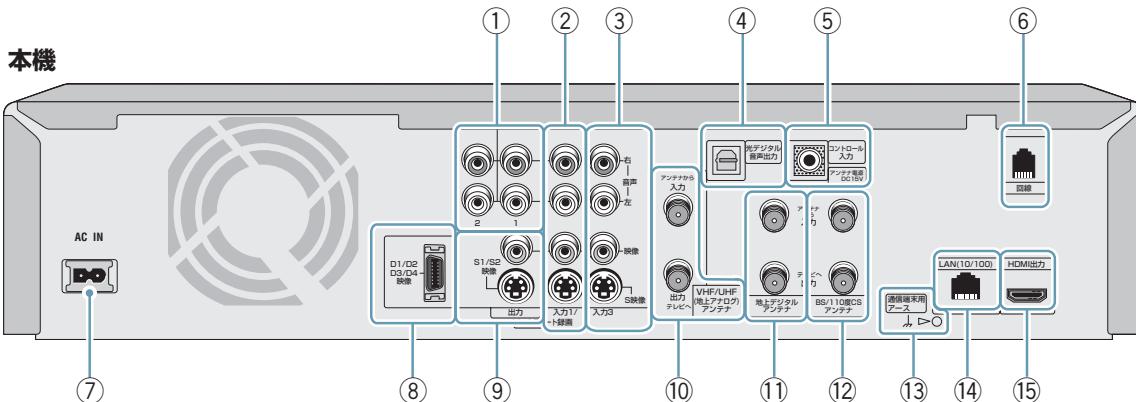
㉒ 放送切換

地上アナログ放送、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送(CS1/2)を切り替えます。

㉓ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

本体背面部



① 音声出力 1(音声左 / 右)

② 音声出力 2(音声左 / 右)

テレビまたはAVアンプなどの音声入力端子と接続します。

③ 入力 1 / オートスタート録画(S映像、映像、音声左 / 右)

通常は外部入力1端子として使います。「オートスタート録画」[操作ガイド P.54](#)で録画するときは、外部チューナーなどの映像 / 音声出力端子と接続します。

④ 入力 3(S映像、映像、音声左 / 右)

通常は外部入力3端子として使います。

⑤ 光デジタル音声出力

AVアンプなどの光デジタル音声入力端子と接続します。[P.23](#)

⑥ コントロール入力端子

マーク付きのパイオニア製AVアンプなどのコントロール出力端子と市販のミニプラグ付きケーブル(抵抗なし、φ 3.5)を使って接続すると、AVアンプなどのリモコンで本機を操作できます。詳しくはAVアンプなどの取扱説明書をご覧ください。

⑦ AC IN

電源コードを接続します。

⑧ D1/D2/D3/D4 映像出力

D 映像入力端子の付いているテレビなどと接続します。[P.15](#)

⑨ 映像出力(S1/S2 映像、映像)

テレビまたはAVアンプなどの映像入力端子と接続します。[P.14](#)

⑩ VHF/UHF(地上アナログ)アンテナ入力 / 出力

VHF/UHF(地上アナログ)アンテナ入力(アンテナから)端子とVHF/UHF(地上アナログ)アンテナ線を接続します。

VHF/UHF(地上アナログ)アンテナ出力(テレビへ)端子とテレビのVHF/UHF(地上アナログ)アンテナ入力端子を接続します。[P.11](#)

⑪ 地上デジタルアンテナ入力 / 出力

地上デジタルアンテナ入力(アンテナから)端子と地上デジタルアンテナ線を接続します。

地上デジタルアンテナ出力(テレビへ)端子とテレビの地上デジタルアンテナ入力端子を接続します。[P.10](#)

⑫ BS/110度CSデジタルアンテナ入力 / 出力

BS/110度CSデジタルアンテナ入力(アンテナから)端子とBS/110度CSデジタルアンテナ線を接続します。

BS/110度CSデジタルアンテナ出力(テレビへ)端子とテレビのBS/110度CSデジタルアンテナ入力端子を接続します。[P.11](#)

⑬ 通信端末用アース

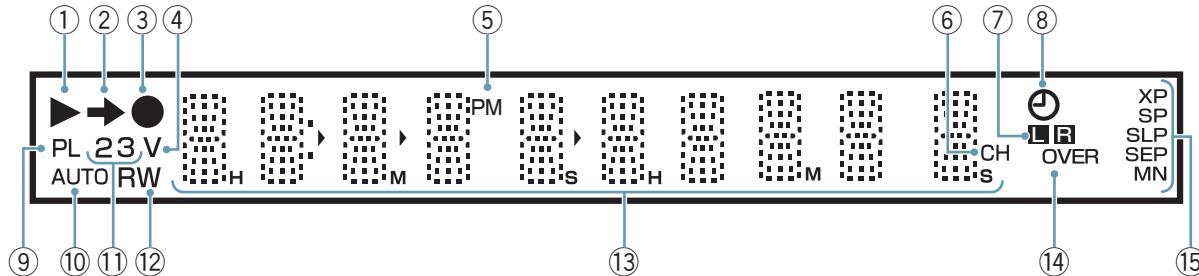
⑭ LAN(10/100)

ハブやブロードバンドルーターなどの10BASE-T端子または100BASE-TX端子と接続します。[P.20](#)

⑮ HDMI出力

HDMI対応テレビと接続します。[P.16](#)

本体表示窓



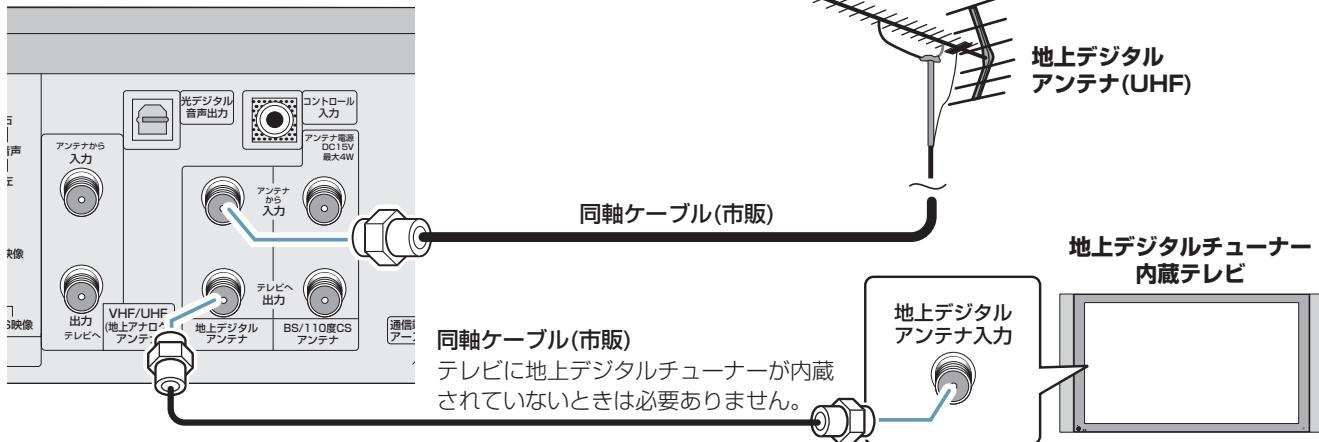


接続

地上デジタルアンテナ(UHF)と接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。本機は地上デジタルチューナーを内蔵していますので、地上デジタル放送を受信および録画できます。地上デジタル放送を受信するには、地上デジタルアンテナ(UHF)の設置とアンテナの接続が必要です。住宅の状況に合わせて設置/接続方法を確認してから作業してください。アンテナは入力と出力を正しく接続してください。アンテナの入力と出力を誤って接続すると、落雷などにより本機が故障する恐れがあります。

本機



CATV(ケーブルテレビ)での受信方法について

本機は、CATV パススルー伝送方式に対応しています。ケーブルテレビ局からパススルー伝送方式で地上デジタル放送が伝送されているときは、本機の地上デジタルアンテナ入力端子にケーブルテレビ局からのアンテナ線を接続するだけで受信できます。

地上デジタル放送をCATVで伝送する方式には、以下の方式があります。

・CATV パススルー伝送方式 :

変調方式を変更せずに再送信する方式です。
運用方式により、次の2つの方式があります。

→ 同一周波数パススルー運用方式 :

地上デジタル放送をそのままの周波数で伝送する方式です。

→ 周波数変換パススルー運用方式 :

UHF帯の中で周波数を変換する方式、またはUHF帯以外の周波数へ変換して伝送する方式があります。

・トランスモジュレーション伝送方式 :

変調方式を変更して伝送する方式です。本機では受信できません。

詳しくは、ご契約されているCATV事業者にお問い合わせください。



- アンテナの設置は電器店などにご相談ください。
- 地上デジタル送出局に向かって、アンテナを設置してください。お使いの地上アナログ放送のUHFアンテナが地上デジタルの放送局と同じ方向のときは、従来のアンテナをそのままお使いいただけます。
- 地上デジタルアンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要です。[Q 操作ガイド P.120](#)
- 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で送信されますので、受信エリアが限定されます。[Q 下記](#)
- 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 専用のUHFアンテナ、デジタル放送対応のブースター・分配器などの機器が必要なことがあります。
- 地上デジタル送出局からの放送出力が増大されたときは、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要なことがあります。
- 本機では、地上デジタル放送の電波の送出が変更される情報（周波数変更、新規の開局など）を電波を通して受信すると、「お知らせメッセージ」[Q 操作ガイド P.25](#)にメッセージが追加されます。[周波数自動変更][Q 操作ガイド P.119](#)を[する]に設定しているときは、自動で周波数が変更されます。[しない]に設定しているときは、[地上デジタルチャンネル設定]でチャンネルの再設定をしてください。[Q 操作ガイド P.119](#) 地上アナログ放送などの電波の送出の変更については、メッセージは表示されませんので、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが国の方針として決定されています。

2000年 ··· 2003年 ··· 2006年 ······ 2011年

2003年12月

地上デジタル放送

地上アナログ放送

2011年7月終了

2000年12月

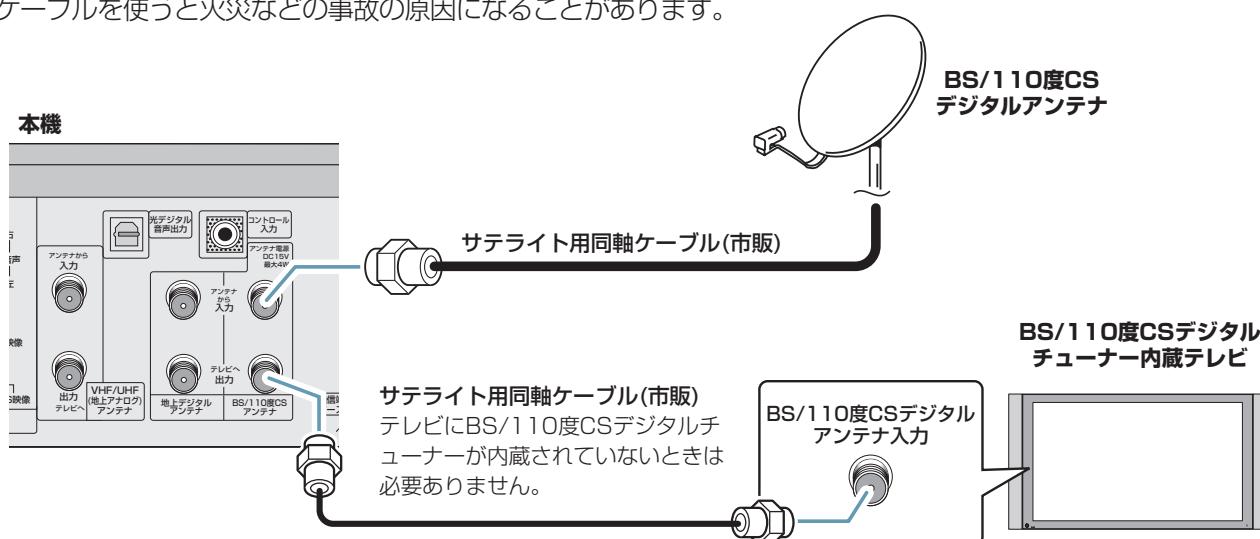
BSデジタル放送

BSアナログ放送

2011年までに終了

BS/110度CSデジタルアンテナと接続する

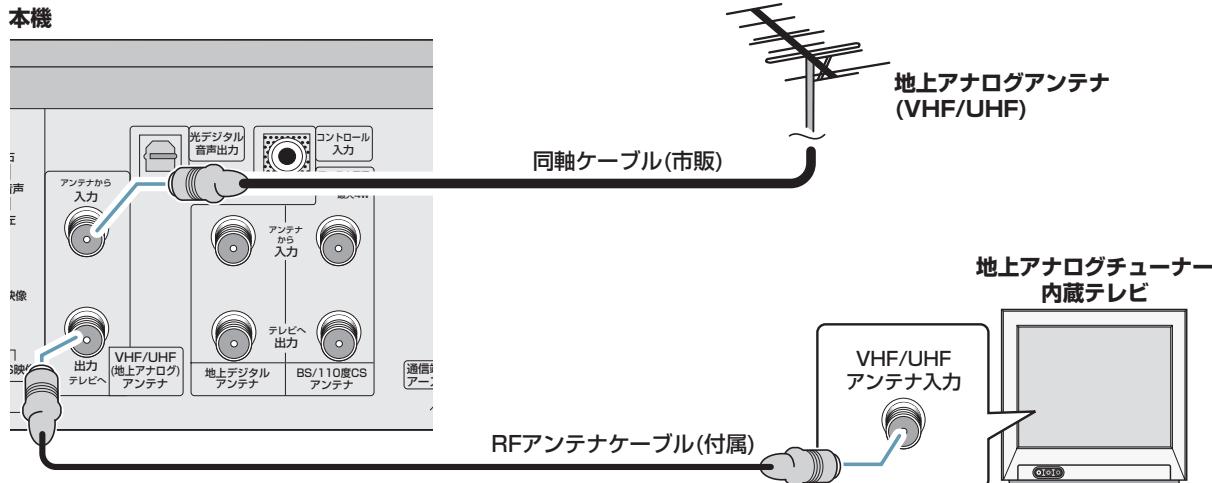
本機はBS/110度CSデジタルチューナーを内蔵していますので、BS/110度CSデジタル放送を受信および録画できます。BS/110度CSデジタル放送を受信するには、BS/110度CSデジタルアンテナの設置とアンテナの接続が必要です。市販のBS/110度CSデジタル放送対応アンテナをお使いください。従来の衛星アンテナを使うと、放送を受信できないことがあります。住宅の状況に合わせて設置／接続方法を確認してから作業してください。BS/110度CSデジタルアンテナ入力端子には、必ず専用のサテライト用同軸ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使うと火災などの事故の原因になることがあります。



- BS/110度CSデジタルアンテナの設置は電器店などにご相談ください。
- BS/110度CSデジタルアンテナを接続したときは[BS/CSアンテナ電源]の設定を行ってください。共同受信システムに接続したときは[BS/CSアンテナ電源]を[オフ]に設定してください。 **操作ガイド P.100**
- BS/110度CSデジタルアンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。設定のしかたについては **操作ガイド P.120**をご覧ください。
- 雷雨、豪雨、またはBS/110度CSデジタルアンテナに雪が付着したときなどは信号が弱くなります。このようなときは、映像や音声にノイズが出たり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。これはアンテナや本機の故障ではありません。

地上アナログアンテナ(VHF/UHF)と接続する

アンテナの設置は電器店などにご相談ください。



混合アンテナ端子と接続する

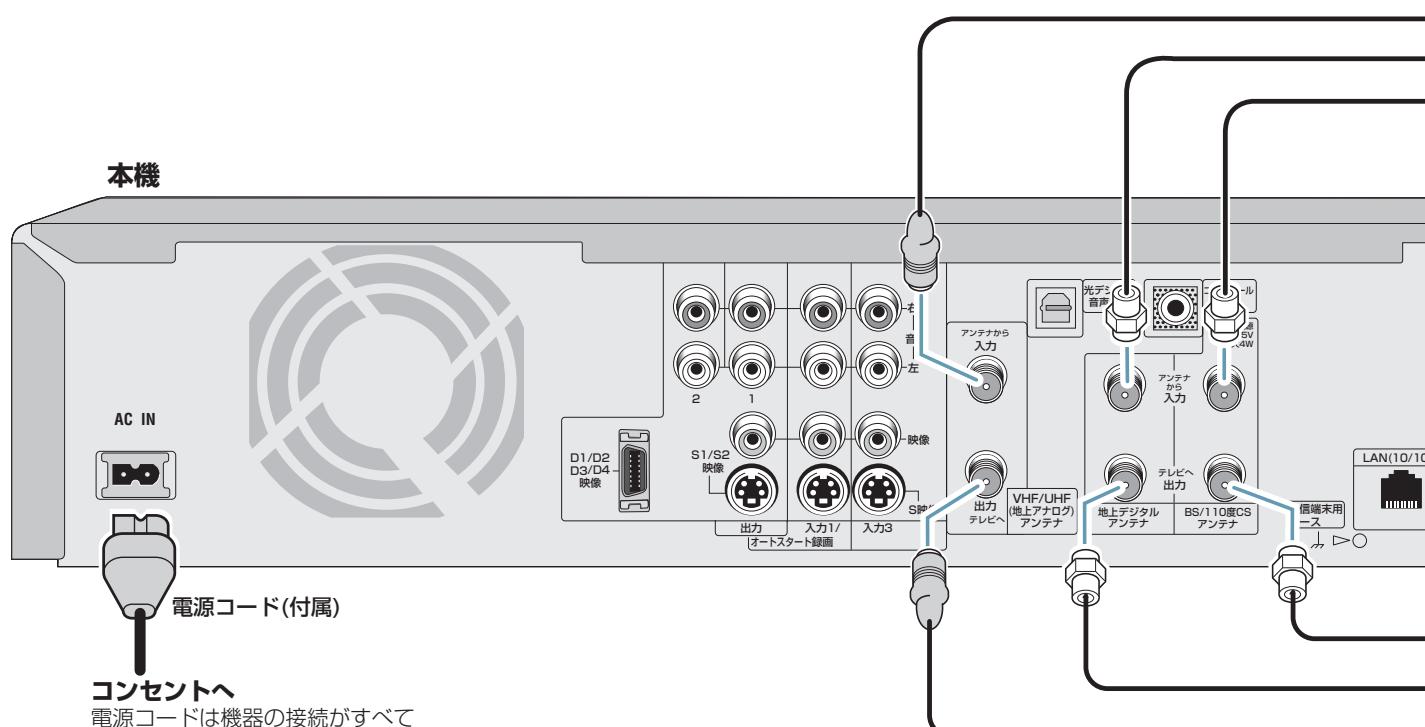
マンションなどの共同受信のとき、またはすべての放送が混合されているときは、分波器と分配器を使って接続します。

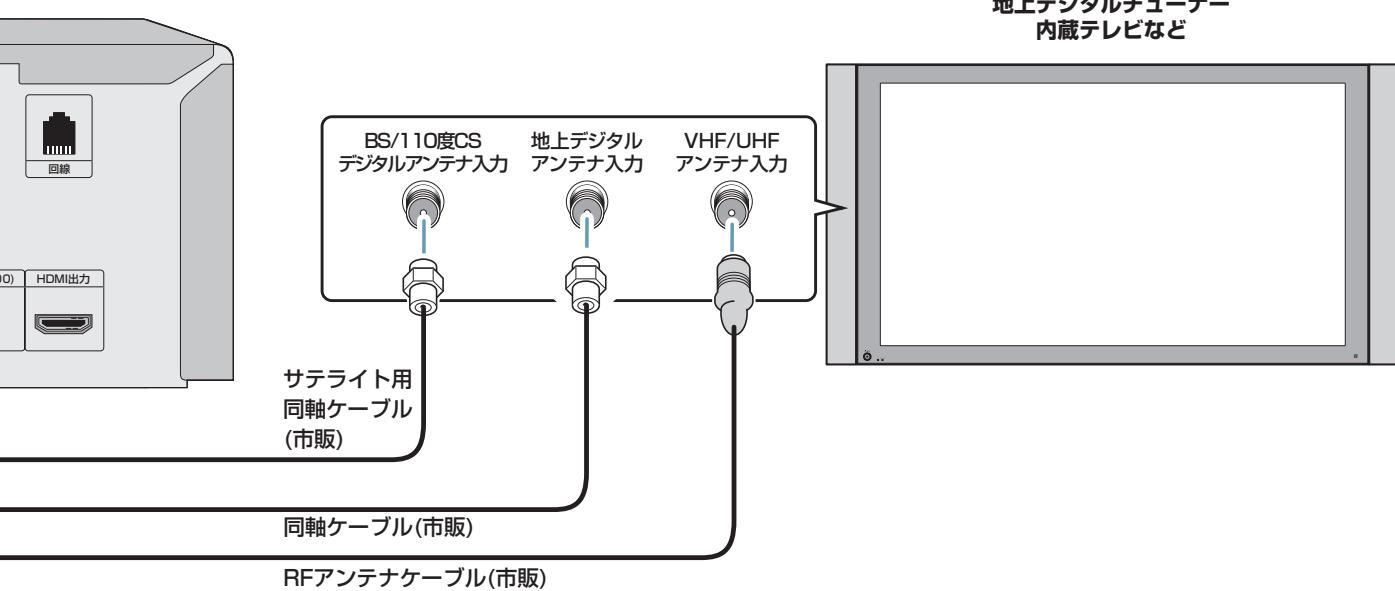
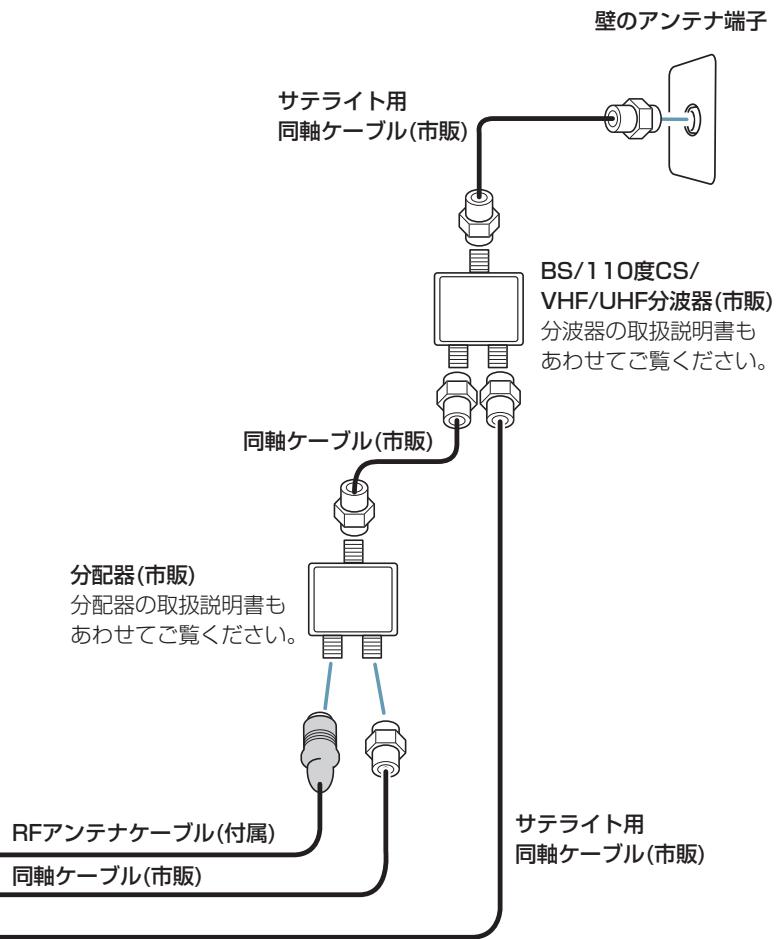
アンテナケーブルや分配器などは、デジタル放送に対応しているものをお使いください。使用する機器やケーブルについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

例.. 地上デジタル/BS/110度CSデジタル/地上アナログ共同受信システムを持つマンションの壁のアンテナ端子から接続するとき



- 分波器やサテライト用同軸ケーブルを購入される前に接続するアンテナがVHF/UHF/BS混合であることをマンションガイドなどで必ず確認してください。
- BS/110度CSデジタルアンテナを接続したときは[BS/CSアンテナ電源]を[オフ]に設定してください。 **操作ガイド P.100**



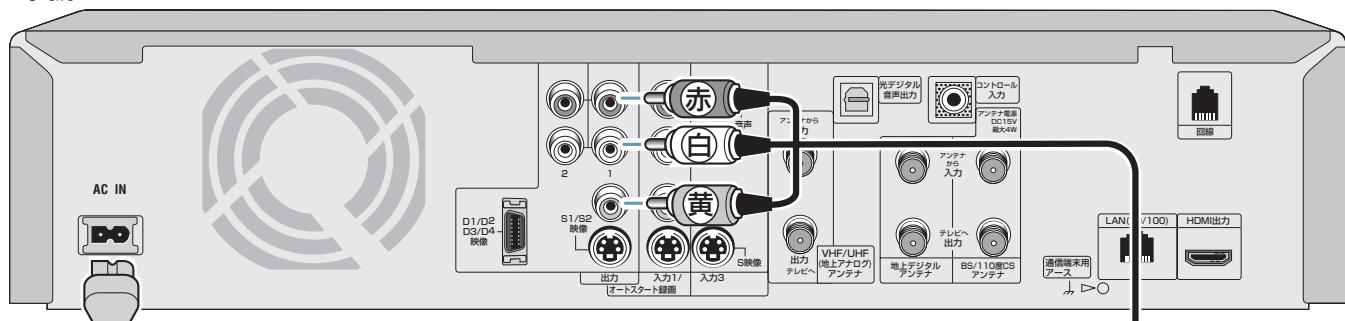


テレビと接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

ハイビジョン画質を楽しみたいときは、HDMIケーブル **P.16** またはD端子ケーブル **P.15** でハイビジョン対応テレビと接続してください。HDMIケーブルで接続すると、映像と音声を劣化のないデジタル信号で伝送できます。

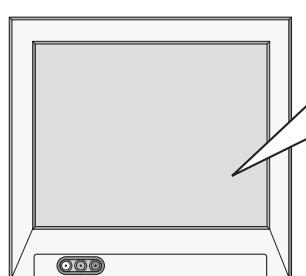
本機



電源コード(付属)

コンセントへ

電源コードは機器の接続がすべて終わってから接続してください。



テレビ

ビデオ入力

S映像

映像

左
音声

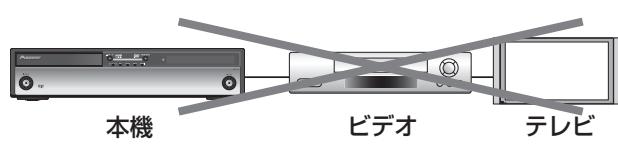
右

オーディオ・ビデオ
ケーブル(付属)



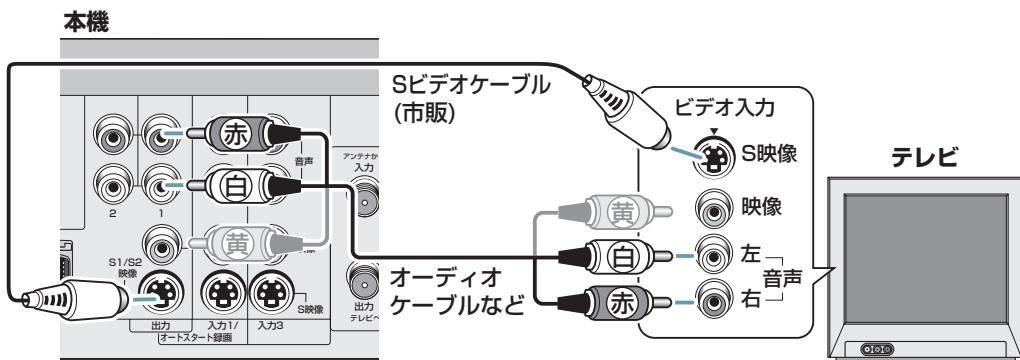
本機の映像出力は直接テレビに接続してください。

本機は、アナログkopfロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオを通してテレビに接続したり、ビデオで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのビデオ内蔵テレビのメーカーにお問い合わせください。



Sビデオケーブルで接続する

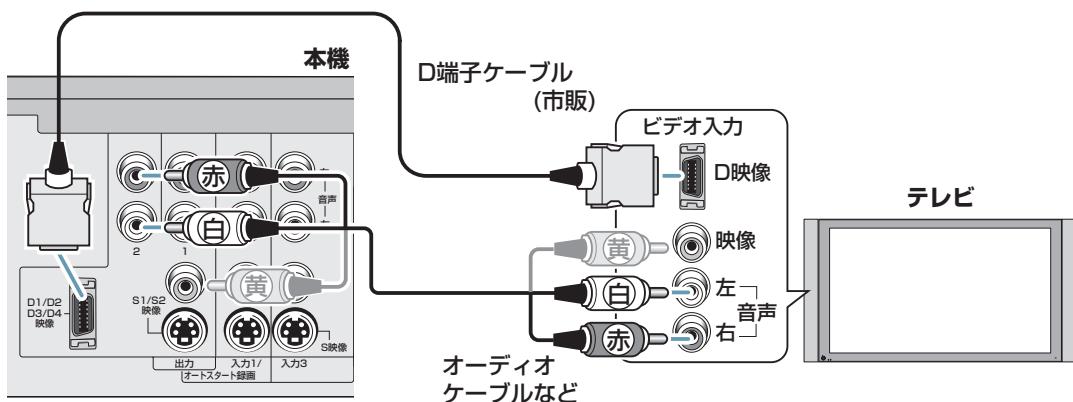
Sビデオケーブル(市販)を使ってS(S1/S2)映像入力端子の付いているテレビと接続できます。映像端子の接続よりも鮮明な映像になります。



Sビデオケーブルで接続するときは映像出力端子(黄)を接続しないでください。テレビによってはSビデオケーブルで接続した映像が出力されないことがあります。オーディオケーブルなどで音声入出力端子も接続してください。

D端子ケーブルで接続する

D端子ケーブル(市販)を使ってD映像入力端子の付いているテレビと接続できます。本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子はD1/D2/D3/D4映像信号に対応しています。

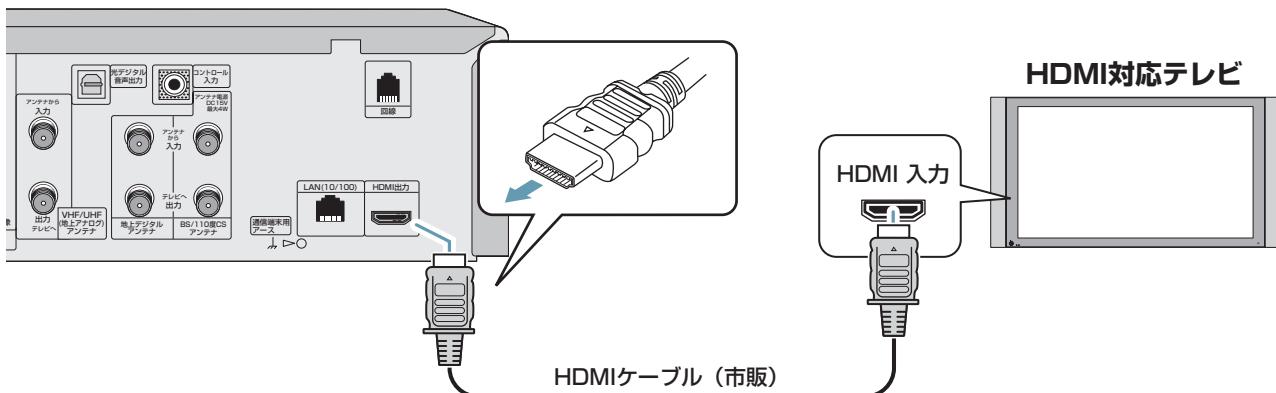


- オーディオケーブルで音声入出力端子も接続してください。
- お使いのテレビに合わせて[接続テレビ D端子]を設定してください。 **操作ガイド P.101**
- D1/D2/D3/D4映像出力端子にD1映像信号のみ対応しているテレビを接続して、[接続テレビ D端子] **操作ガイド P.101**を[D1]以外に設定すると映像が映りません。映らなくなってしまったときは本体の■停止ボタンを押しながら▶再生ボタンを押してください。
- ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子(1125i固定)には対応していません。1125i固定以外のコンポーネント映像入力端子のあるテレビと接続するときは、D-コンポーネント変換ケーブル(市販)を使用して接続してください。

HDMI 対応テレビと接続する

ハイビジョン画質を楽しみたいときは、ハイビジョン対応テレビとHDMIケーブルで接続します。映像と音声が劣化のないデジタル信号で伝送されます。HDMI 対応テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機



- 本機の[HDMI]インジケーターが点灯します(テレビによってはテレビの入力で本機を選んだときのみ、本機の[HDMI]インジケーターが点灯します)。
- 接続したHDMI 対応テレビの性能に合わせて、自動で[HDMI 出力]が設定されます。設定を変更したいときは 操作ガイド P.111 をご覧ください。
- 前回と同じテレビを接続したときは、前回設定した値で出力します。
- 音声はリニアPCMの2チャンネルで出力します。ドルビーデジタル 操作ガイド P.154、MPEG-2 AAC 操作ガイド P.155 の音声もリニアPCMの2チャンネルに変換して出力します(DTS 操作ガイド P.155 の音声は出力されません)。

本機は HDMI テレビとの接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続した場合、DVI 機器によっては正常に動作しない場合があります。本機の HDMI インターフェースは以下の規格に基づいて設計されています。

- High-Definition Multimedia Interface Specification Version 1.1

HDMI の接続の詳細は、<http://www.pioneer.co.jp/catalog/hdmi/> を参照してください。

HDMI ケーブルは、(株)エスモックで取り扱っています。詳細は <http://www.mmjp.or.jp/lfile/pioneer/hdmi/setsuzoku1.html> です。



HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標文または商標登録です。



HDCP*対応の DVI 機器と接続したとき

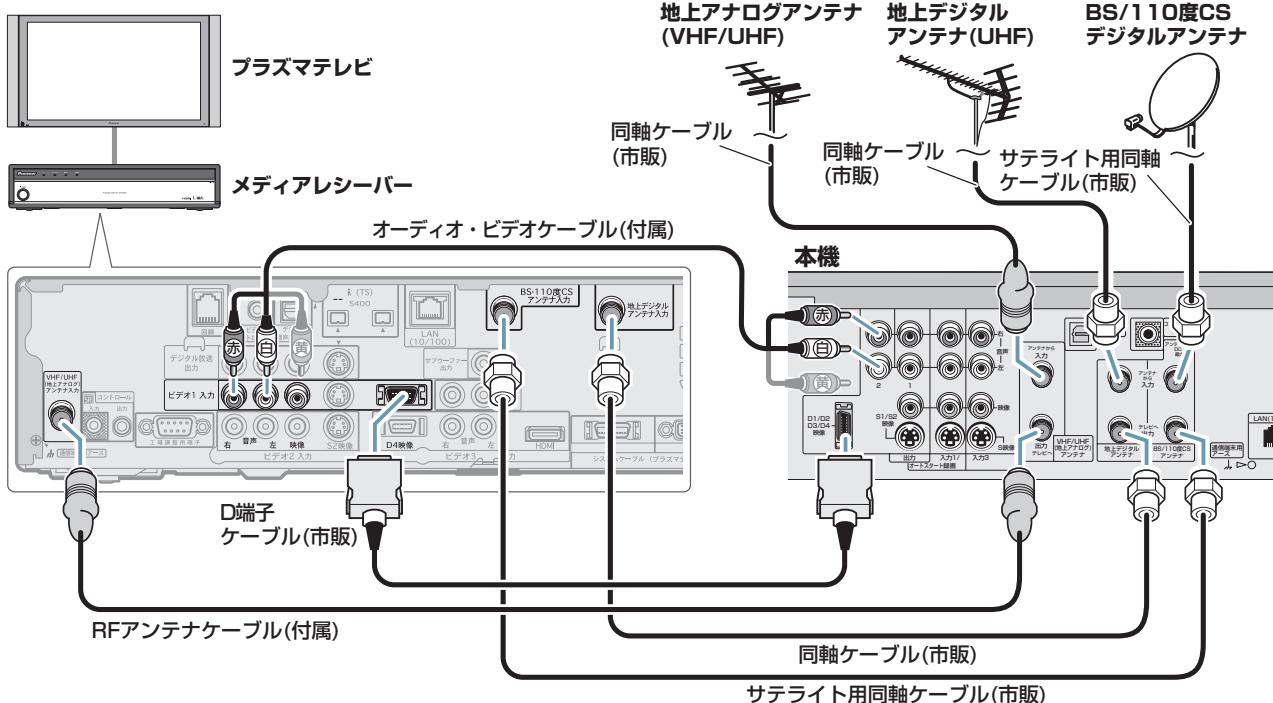
- 本機の HDMI インジケーターが点灯します(機器によっては機器の入力で本機を選んだときのみ、本機の[HDMI]インジケーターが点灯します)。
- 音声は出力されません。オーディオケーブルなどで接続すると音声を出力できます。

* • HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)とは、デジタル画像信号を暗号化する著作権保護システムの1つです。
• HDCPに対応していないDVI機器(パソコンディスプレイなど)には接続できません。

パイオニア製プラズマテレビ 地上/BS/110度CSデジタルチューナー内蔵テレビと接続する

プラズマテレビ(地上/BS/110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

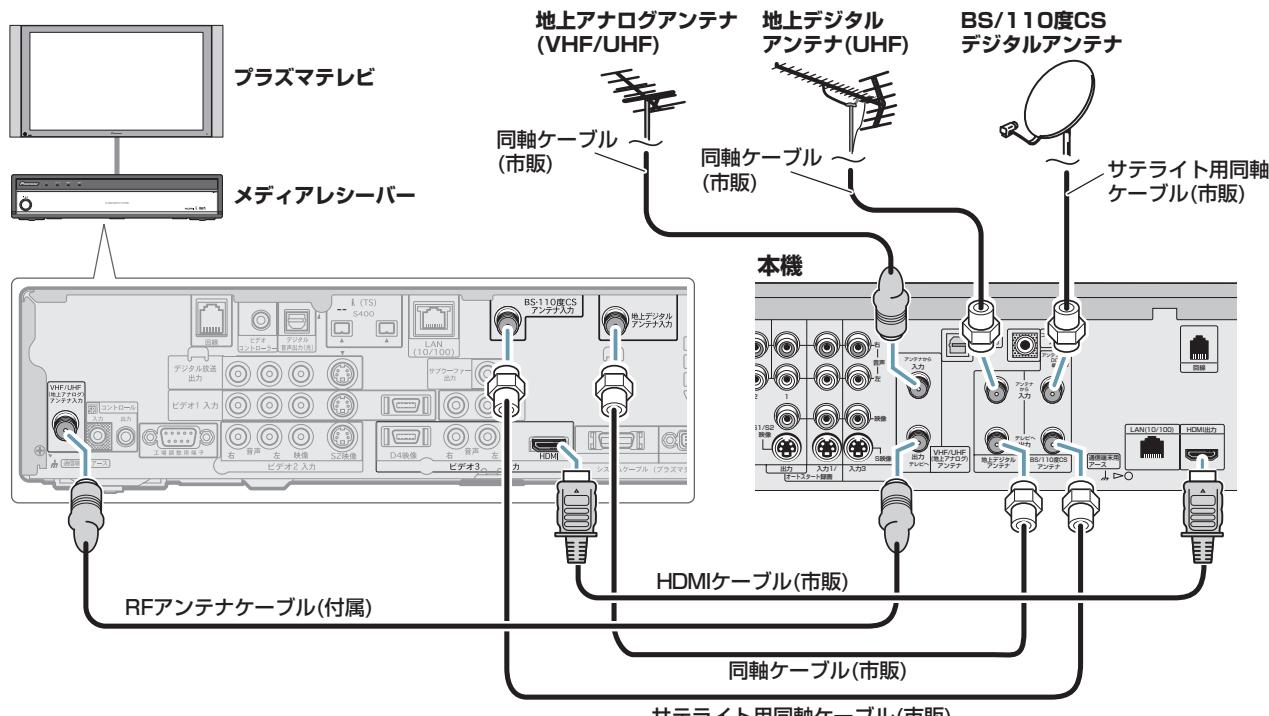
例.. パイオニア製プラズマテレビPDP-506HD



HDMIケーブルで接続する

HDMIケーブルで接続すると、映像と音声を劣化のないデジタル信号で伝送できます。このときは、プラズマテレビ側でHDMI設定を行ってください。HDMI設定については、プラズマテレビの取扱説明書をご覧ください。

例.. パイオニア製プラズマテレビPDP-506HD



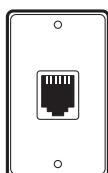
電話回線を接続する

有料番組や視聴者参加番組などを楽しむためには、電話回線の接続が必要です。ご使用の前に電話回線と接続してください。また、電話回線の設定をしてください。 **操作ガイド P.112**

電話回線を確認する

● モジュラーコンセントのとき

付属のモジュラーケーブルとモジュラ一分配器のみで接続できます。 **P.19**



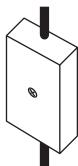
● 3ピンジャックコンセントのとき

3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプター(市販)を使用して、付属のモジュラーケーブルとモジュラ一分配器で接続します。



● 直下型ローゼットのとき

工事が必要です。詳しくはお近くのNTT営業窓口、または116(局番なし)にお問い合わせください。



● 埋め込み型プレートのとき

工事が必要です。詳しくはお近くのNTT営業窓口、または116(局番なし)にお問い合わせください。



- 下記の電話回線には接続できません。
 - 公衆電話、共同電話、地域集合電話
 - 携帯電話、PHS、自動車電話
 - デジタル方式の交換機に接続されている電話回線
 - 通常外線をかけるときに0～9以外の番号を付けてかけている電話回線
- ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。詳しくは電話設置会社にご相談ください。
- 直接デジタル回線には接続できません。会社やホテルなどで使用するときは、電話回線が一般回線(アナログ)であることを確認してください。

ISDN回線のとき

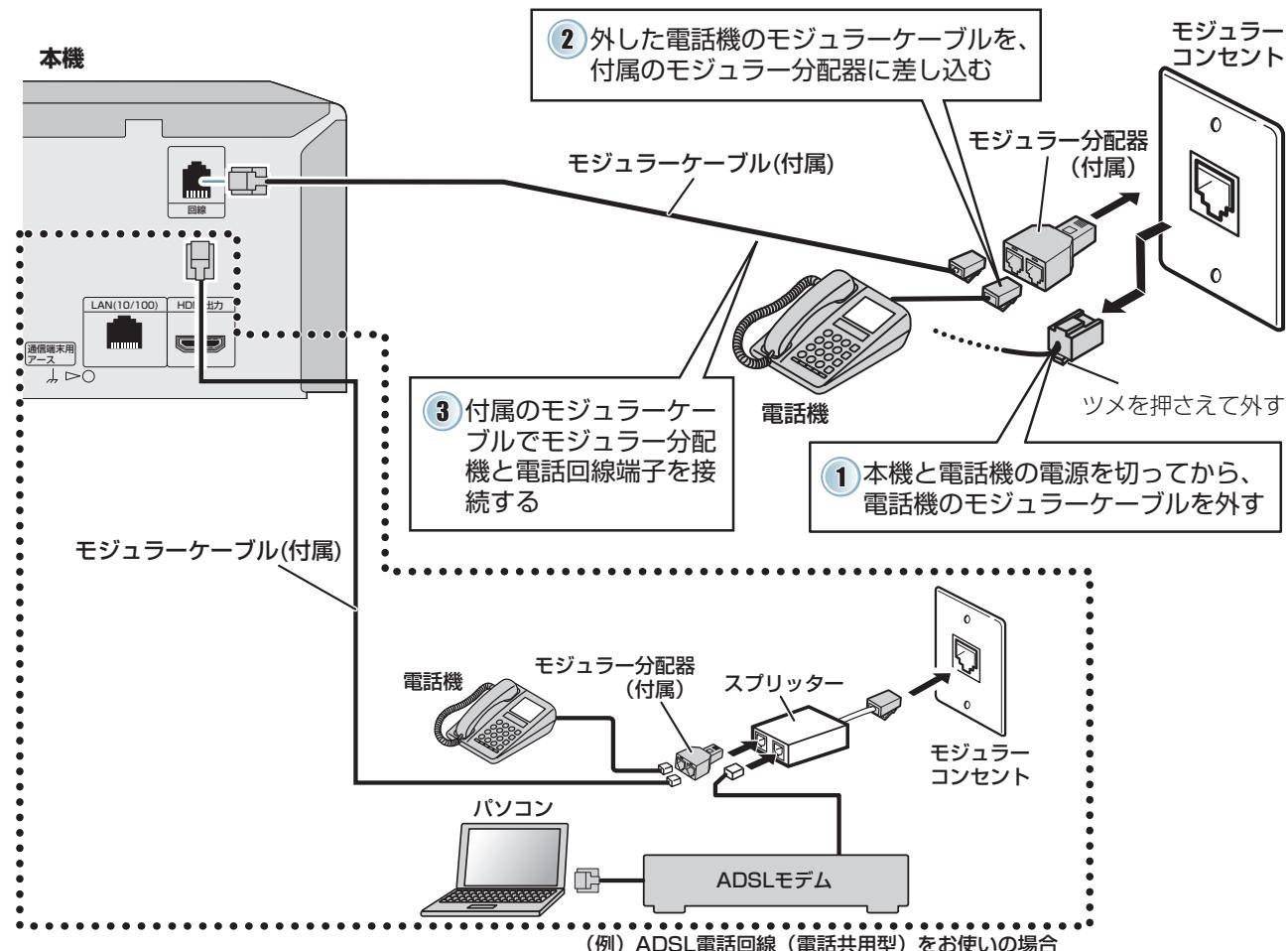
アナログポート付きターミナルアダプター(市販)を使用して、付属のモジュラーケーブルで本機とターミナルアダプターを直接つないでください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

NTT以外の電話回線やIP電話などのとき

NTT以外の電話回線やIP電話などをお使いのときは、つながらないことがあります。そのときには、NTTの電話回線に切り換えるとつながることがあります。切り替えの方法については、電話回線業者にお問い合わせください。

電話回線を接続する

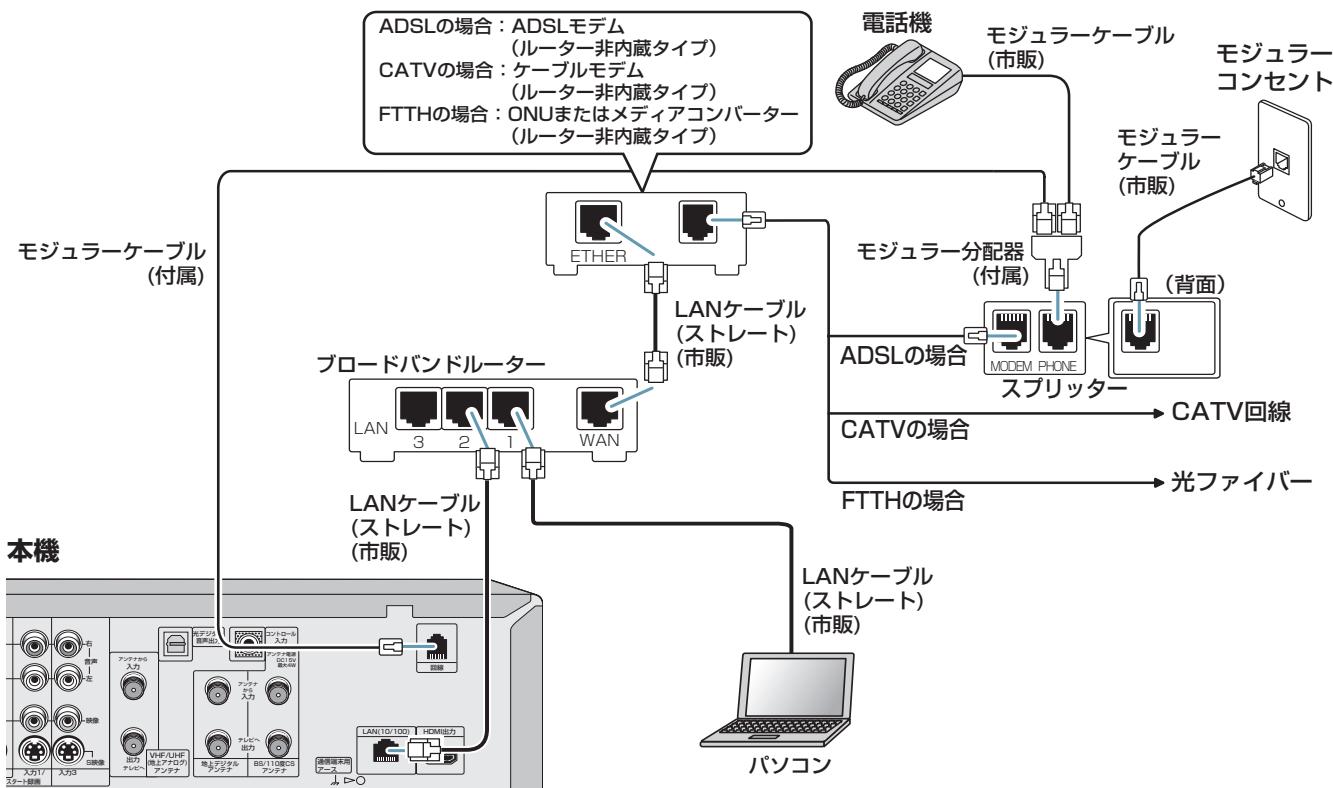
電話用モジュラーケーブルを、LAN(10/100)端子に挿入しないでください。故障の原因となります。



- キャッチホンでは通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断します。これを防ぐため、キャッチホンIIへのご加入をお勧めします。詳しくはお近くのNTT営業窓口、または116(局番なし)にお問い合わせください。
- 本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください(回線使用中は本体前面部の[通信中]インジケーターが赤色に点灯します)。通信中に電話機を使用すると通信が切断されることがあります。
- 1つの電話回線に3つ以上の機器を接続するときは、市販のモジュラーフィルタとモジュラーケーブルを必要に応じて別途お買い求めください。
- 本機が放送局と通信しているときに、接続している電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴ることがありますが故障ではありません。
- 通信先によってはお客様がご契約している電話会社以外の会社から請求が来ることがあります。

ネットワークに接続する

インターネット常時接続(ブロードバンド)の環境でLANに接続すると、[PC・ケータイ予約] 操作ガイドP.50やインターネットを利用した一部のデジタル放送のサービスをご利用になれます。接続したあとに[ホームメニュー]から[IPアドレス設定] 操作ガイドP.113と[プロキシサーバー設定] 操作ガイドP.114の設定をしてください。



- 本書では、すでにブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでないお客様は、接続できません。
- 本機では、インターネットのホームページの閲覧はできません。
- 回線業者やプロバイダーによって、必要な機器と接続方法が異なります。
 - ブロードバンドモードやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。また、お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
 - 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きのブロードバンドモードなどの設定はできません。
- ブロードバンドモードについてご不明の点は、ご利用の回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TXに対応していることを確認してください。
- 電話用のモジュラーケーブルをLAN(10/100)端子に接続しないでください。故障の原因となります。
- ブロードバンドルーターまたはブロードバンドルーター機能付きブロードバンドモードをお使いであれば、ほとんどの場合、本機のLAN(10/100)端子に接続して設定すると使えます。
- ブリッジ接続型ADSLモデムをお使いのお客様は、ブロードバンドルーターが別途必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いのときは、ADSL事業者にご相談ください。
- 回線業者やプロバイダー、モードム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になることがあります。詳しくは回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- 接続ケーブルや接続機器などは、必要に応じて市販品をお買い求めください。

本機のMACアドレスを確認するには

ブロードバンドルーターなどの設定でMACアドレスが必要なときは、[ネットワーク情報表示] 操作ガイドP.114で確認してください。

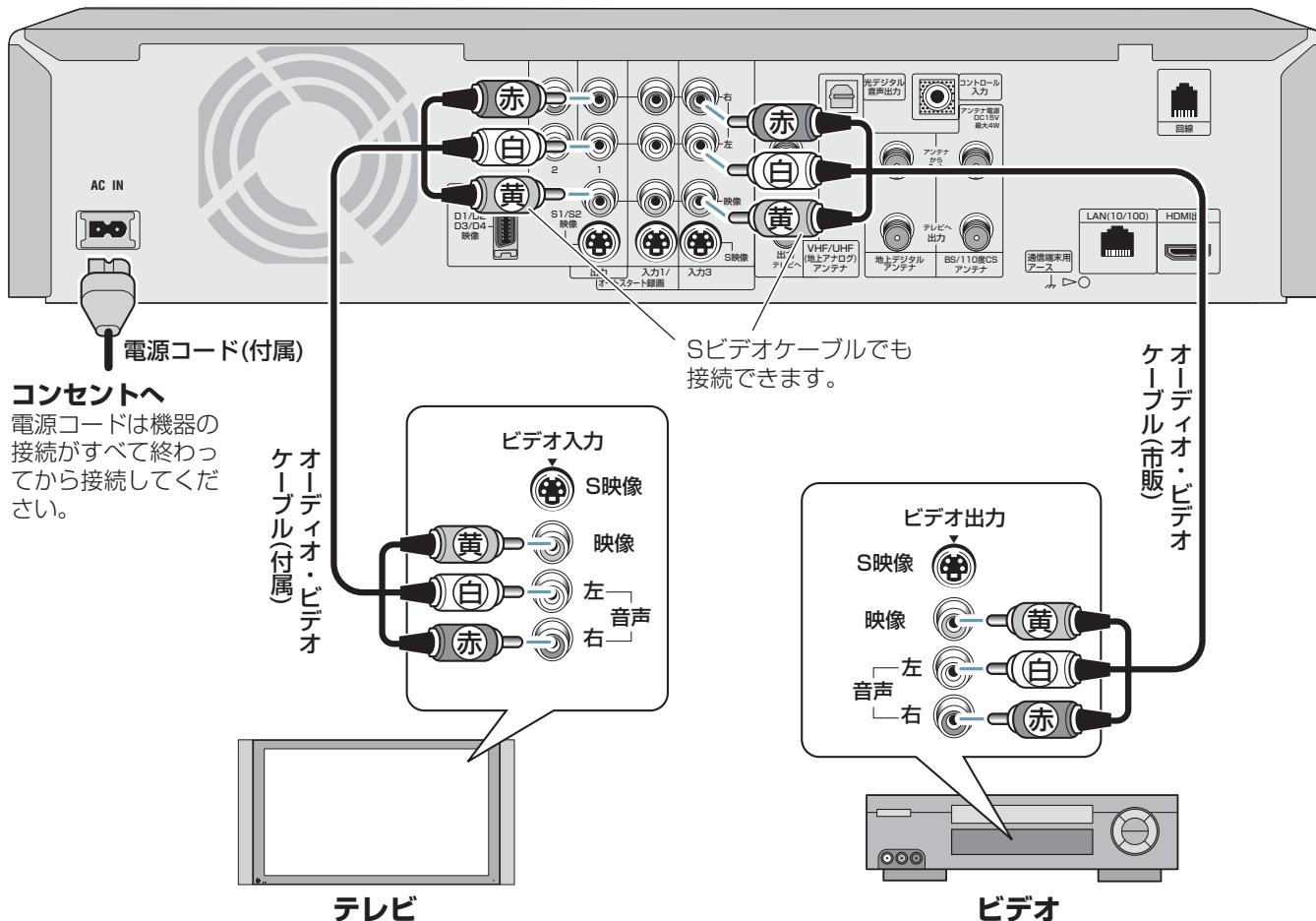
1 を押す

2 で[本機設定]→[通信]→[ネットワーク]→[ネットワーク情報表示]を選んで を押す

ビデオと接続する

ビデオから本機にダビングするとき

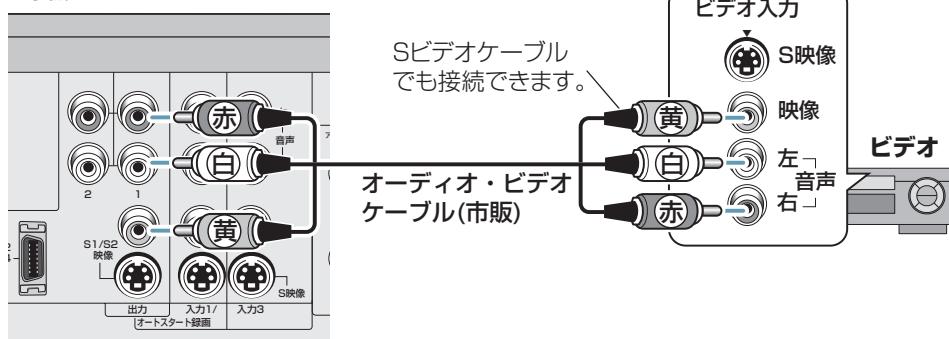
本機



- コピー防止信号によってビデオの映像が乱れることがあるため、テレビとビデオは直接接続することをお勧めします。
- 入力3端子に他の機器が接続されているときは、入力1/オートスタート録画端子に接続してください。
- ビデオから本機にダビングする方法については 操作ガイド P.55 をご覧ください。

本機からビデオにダビングするとき

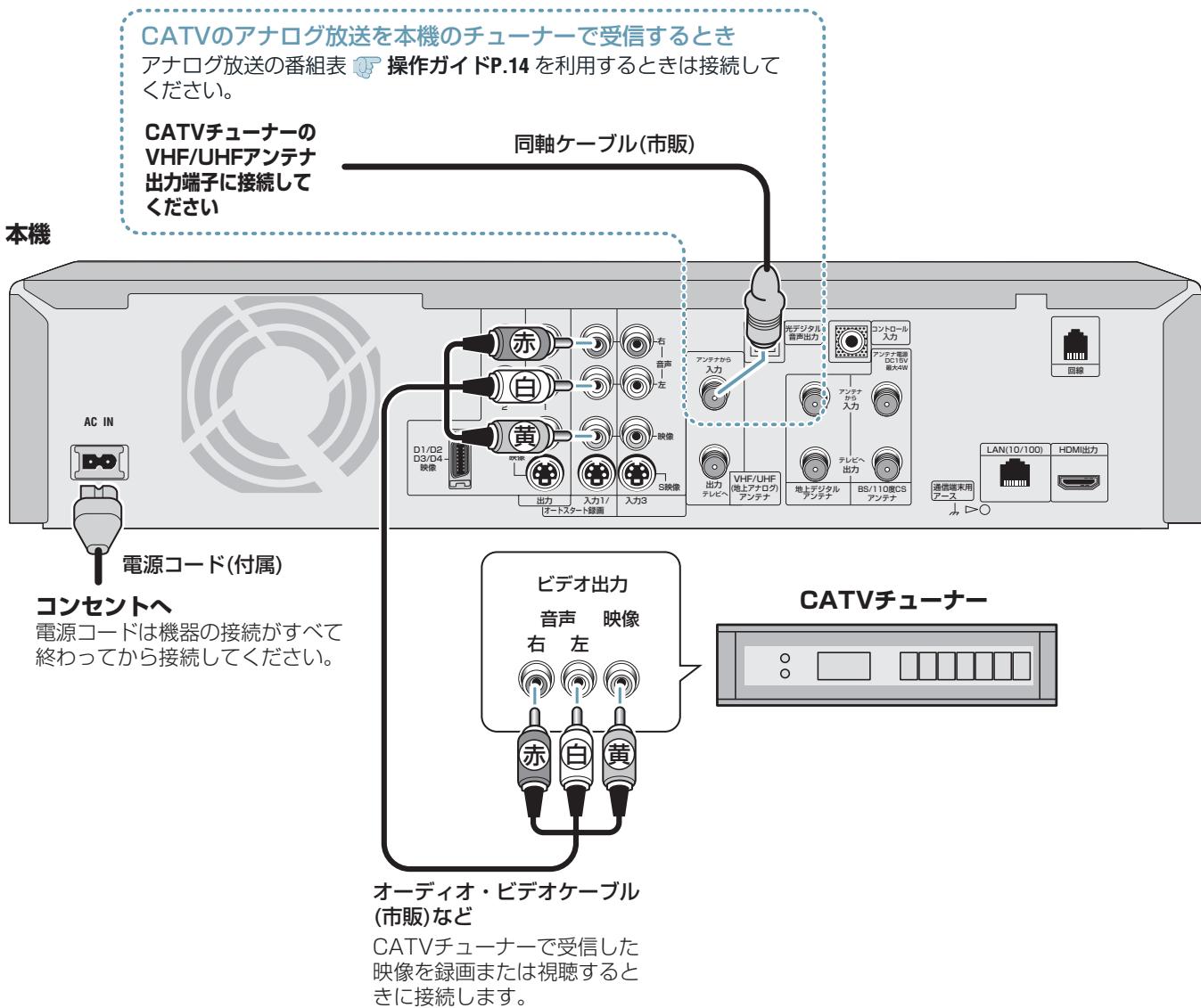
本機



「録画禁止」信号を含む DVD-Videoなどの映像をビデオに録画すると、映像の乱れなどが発生して正常に録画することができません。また、視聴のみでも正しい映像が得られないことがあります。

CATV(ケーブルテレビ)チューナーと接続する

CATV(ケーブルテレビ)のチャンネルは[オートスキャン] 操作ガイドP.125で設定します。[オートスキャン]で設定したあとに、特定のチャンネルが受信できないまたは映りが悪いときは[個別チャンネル設定] 操作ガイドP.126で設定してください。CATVチューナーで受信している番組を録画するときは 操作ガイドP.55をご覧ください。CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



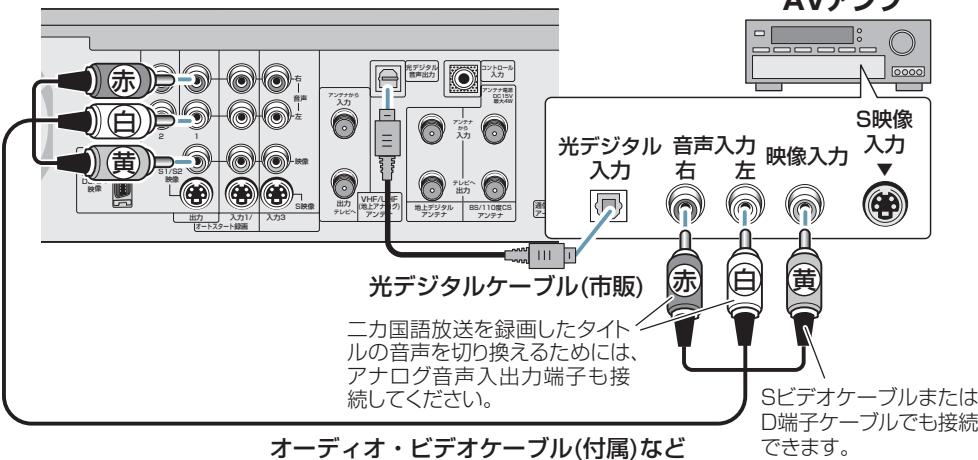
- ご契約のCATV(ケーブルテレビ)局によっては、アナログ放送の番組表を利用できないことがあります。
- 本機で受信できないスクランブル処理されたCATVのチャンネルなどがあります(詳しくはCATV局にお問い合わせください)。CATVチューナーで受信できるチャンネルは、本機の外部入力端子に接続してご覧ください。

他機器(AVアンプ、ビデオカメラ)と接続する

AVアンプと接続する

ドルビーデジタル、DTS、またはMPEG-2 AAC音声に対応したAVアンプと接続して5.1チャンネルサラウンドなどの音声を楽しむことができます。AVアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機



- デジタル接続するときは[音声出力] **操作ガイド P.103** を正しく設定してください。正しく設定されていないと大音量によって耳に障害を受けたり、スピーカーを破損したりする恐れがあります。
- HDMI端子付きのAVアンプとHDMIケーブルで接続している場合に5.1チャンネルサラウンド音声を楽しみたいときは、光デジタルケーブルも接続してください。

デジタルビデオカメラと接続する

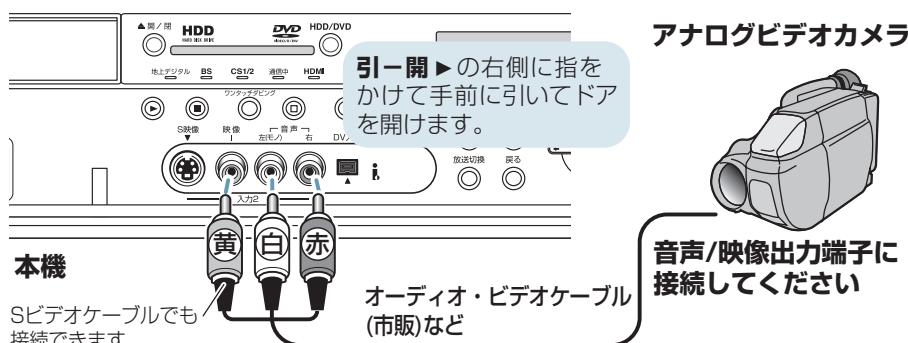
デジタルビデオカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。デジタルビデオカメラの映像を録画するときは **操作ガイド P.56** をご覧ください。



- デジタルチューナーやD-VHSなどとは接続できません(DVC-SD方式の信号のみ入力できます)。
- 日付/時刻の情報またはカセットメモリの内容は本機に記録できません。

アナログビデオカメラと接続する

本体前面部の入力2端子に接続すると便利です。アナログビデオカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。アナログビデオカメラの映像を録画するときは **操作ガイド P.55** をご覧ください。



モノラル音声出力端子の付いている機器を接続するときは、音声左(モノ)端子に接続してください。左右に同じ音声が記録されます(入力2端子のみ)。



基本設定

設定を始める前に・・・

「セットアップナビ」 P.25 で基本的な設定を始める前に HDD の設定を決めておきます。

HDDに録画するには・・・

HDDに番組を録画するには2つの方法があります。

- デジタル放送をそのままの画質で録画する方法([HD/SD録画(TS)])
- 録画モード 操作ガイドP.27で画質を設定して録画する方法([VR/ビデオ録画(PS)])

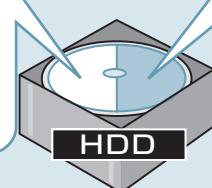
HD/SD録画(TS)

[HD/SD録画(TS)]領域に録画する

- デジタル放送をそのままの画質で録画できます(ハイビジョン放送はハイビジョン画質で録画できます)。
- 5.1チャンネルなどのサラウンド音声を記録できます。
- テレビ放送の連動データを記録できます。



デジタル放送のラジオ番組や独立データ放送は記録できません。



VR/ビデオ録画(PS)

[VR/ビデオ録画(PS)]領域に録画する

- デジタル放送またはアナログ放送を録画できます。
 - DVDに高速でダビングできます。
- ハイビジョン画質では録画できません。
• 5.1チャンネルなどのサラウンド音声は2チャンネル音声に変換して記録されます。
• デジタル放送を録画中は操作が制限されます。 操作ガイドP.26

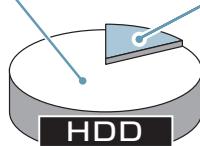
2つの録画方法を使い分けるために、HDDを2つの領域に分けておく必要があります。セットアップナビ P.25で設定画面が表示されますので、あらかじめどのように分けるか決めておきます。設定によって録画できる時間が異なります。

設定はあとで変更できますが、録画してから領域の設定を変更すると、録画されている番組はすべて消去されます。 操作ガイドP.118

例.. お買い上げ時の設定では・・・

[HD/SD録画(TS)]領域:80%

- 地上デジタルハイビジョン画質(HD, 17Mbps基準)での最大録画時間
DVR-DT100:約73時間
DVR-DT90:約46時間
DVR-DT70:約23時間
- 標準画質(SD)での最大録画時間
DVR-DT100:約161時間
DVR-DT90:約101時間
DVR-DT70:約50時間



[VR/ビデオ録画(PS)]領域:20%

- 録画モード[SP]での最大録画時間
DVR-DT100:約67時間
DVR-DT90:約42時間
DVR-DT70:約21時間



• [HD/SD録画(TS)]領域を0%に設定すると、下記の録画はできません。

- ハイビジョン放送のハイビジョン画質での録画 操作ガイドP.27
- デジタル放送とアナログ放送の2番組同時録画 操作ガイドP.52
- [VR/ビデオ録画(PS)]領域を0%に設定すると、下記の録画はできません。
- アナログ放送の録画
- [VR/ビデオ録画(PS)]領域への「自動録画」 操作ガイドP.36
- デジタル放送とアナログ放送の2番組同時録画 操作ガイドP.52
- 「オートスタート録画」 操作ガイドP.54
- 「DV取り込み」 操作ガイドP.56
- 「ディスクバックアップ」 操作ガイドP.94
- 下記の設定のときは[HD/SD録画(TS)]領域に「自動録画」はできません。 操作ガイドP.36
- [HD/SD録画(TS)]領域を0~10%に設定しているとき(DVR-DT100/DVR-DT90)
- [HD/SD録画(TS)]領域を0~30%に設定しているとき(DVR-DT70)
- 最大録画時間について詳しくは 操作ガイドP.158をご覧ください。



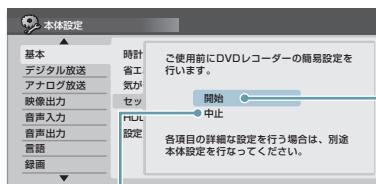
「セットアップナビ」 P.25で設定を始める前に、本体前面部のB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入してください。 P.2
デジタル放送はB-CASカードがないと受信できません。

セットアップナビを使って基本的な設定をする

? 困ったとき
操作ガイド P.136

本機をお使いになる際に必要な最低限の設定をします。

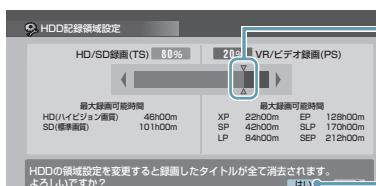
セットアップナビ画面



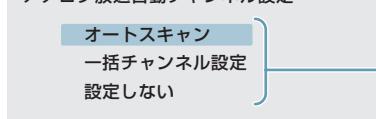
セットアップナビを使わないで設定するときに選びます。



「セットアップナビ」は一度設定すると次に電源をオンにしても表示されません。また、[中止]を選んだときは表示されません。再度設定したいときは『セットアップナビが表示されないとき』右記をご覧ください。



アナログ放送自動チャンネル設定



オートスキャンが終わるまでしばらくお待ちください。を押すと中止できます。

次のページへ続く 9 ~ 21

1 電源をオンにする ▶ 電源

2 テレビの電源をオンにして、テレビの入力を切り換える

- ・テレビの入力切換についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- ・セットアップナビが表示されているか確認してください。

→ セットアップナビが表示されないとき

1 を押す

2 [本体設定]を選んで を押す

3 [基本]→[セットアップナビ]→[開始]を選んで を押す

3 [開始]を選んで決定する ▶ 決定

4 [設定する]を選んで決定する

『設定を始める前に・・・』 P.24で決めたように、HDDの容量を下記の2つの領域に分割します。

- ・[HD/SD録画(TS)]領域
- ・[VR/ビデオ録画(PS)]領域

お買い上げ時の設定で使用する、または設定を変更しないときは[設定しない]を選んで を押します。に進みます。

5 HDDの容量を分割する位置を指定して決定する ▶ (決定)

- ・10%単位で設定できます。
- ・番組がひとつも録画されていないときはに進みます。
- ・すでに録画してあるときに設定を変更すると、録画されている番組がすべて消去されます。

6 [はい]を選んで決定する

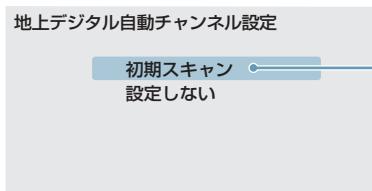
7 アナログ放送のチャンネルを設定する

- ・[オートスキャン]で受信できるアナログ放送局を自動で探してチャンネルを設定します。
- ・[オートスキャン]しないで、地域名のみで設定するときは、[一括チャンネル設定]を選んでください。地域やCATV局によっては正しく設定されないことがあります。
- ・アナログ放送を受信しないとき、またはチャンネルの設定を変更しないときは[設定しない]を選んでに進みます。

8 [地域名]を選んで決定する ▶ (決定)

『地域別地域コード・放送局一覧』 P.32をご覧になり、お住まいの地域または最寄りの地域を選んでください。ここで設定した地域の番組表を受信します。数字ボタン(~)でコードを入力しても地域名を選べます。[0]を入力するときはを押します。





9

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

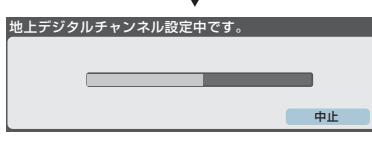
- 初期スキャン:受信できる地上デジタル放送局を自動で探してチャンネルを設定します。
 設定しない:地上デジタル放送を受信しないときに選びます。⑯に進みます。

10

[地域設定]を選ぶ ▶ ⟲ ⟳

『地上デジタル放送放送局一覧』P.30をご覧になり、お住まいの地域または最寄りの地域を選んでください。

11

[開始]を選んで決定する

12

衛星放送受信の設定をする

BS/110度CSデジタル放送を受信する、または受信しないを設定します。

- する:
 BS/110度CSデジタルアンテナと接続していてBS/110度CSデジタル放送を受信するときに設定します。
- しない:
 BS/110度CSデジタルアンテナと接続していないとき、またはBS/110度CSデジタル放送を受信しないときに設定します。

13

BS/CSアンテナ電源の設定をする

本機からBS/110度CSデジタルアンテナへ電源を供給する、または供給しないを設定します。[BS/CSアンテナ電源] 操作ガイドP.100の設定は[本体設定]でも変更できます。

- オン:
 本機とBS/110度CSデジタルアンテナを直接接続したときに設定します。常に本機からBS/110度CSデジタルアンテナに電源が供給されます。

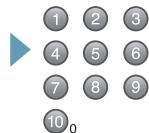
- オフ:
 本機とBS/110度CSデジタルアンテナを直接接続していないとき、またはマンションの共同アンテナなど、本機以外からBS/110度CSデジタルアンテナに電源を供給するときに設定します(お買い上げ時の設定)。

- 連動:
 本機とBS/110度CSデジタルアンテナを直接接続したときに設定します。下記のいずれかの条件を満たしているときのみBS/110度CSデジタルアンテナに電源が供給されます。

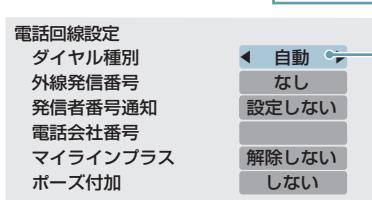
- ・本機の電源がオンのとき
- ・本機の電源がオフになっていて、テレビから本機のBS/110度CSデジタルアンテナ出力端子に電源が供給されているとき



14

郵便番号を入力する

データ放送の地域限定情報の設定をします。
 [0]を入力するときは⑯を押します。



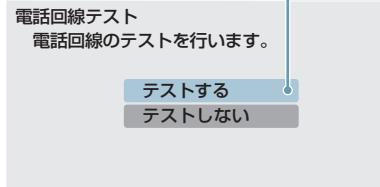
15

[地域設定]を選んで決定する ▶ ⟲ ⟳

お住まいの地域または最寄りの地域を選びます。

16

[ダイヤル種別]で[自動]を選んで決定する



17

電話回線をテストする

- テストする: 電話回線のテストをします。
- テストしない: 電話回線のテストをしないときに選びます。19に進みます。

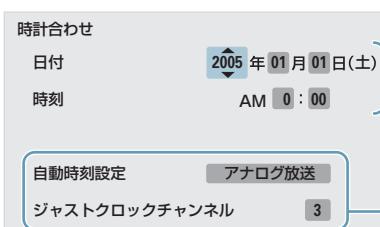
18

テスト結果を確認して決定する

「電話回線の接続に失敗しました。」と表示されたときは、セットアップナビを終了したあとに電話回線の接続 P.18 を確認して、[本体設定]の[電話回線] 操作ガイド P.112 で設定してください。

19

時計を合わせて決定する



- 11で地上デジタル放送を受信できたときは、[日付]と[時刻]は自動で設定されます。 [自動時刻設定]にカーソルを移動して [デジタル放送]に設定してください。 を押して20に進みます。
- BS/110度CSデジタル放送を受信できるときは、 [自動時刻設定]にカーソルを移動して [デジタル放送]に設定してください。BS/110度CSデジタル放送を視聴すると[日付]と[時刻]が自動で設定されます。 を押して20に進みます。
- デジタル放送を受信しないときは、[西暦]→[月]→[日]→[時]→[分]→[自動時刻設定]→[ジャストクロックチャンネル]の順に設定します。アナログ放送の番組表を利用するときは正しく設定してください(特に午前/午後、西暦など)。 [ジャストクロックチャンネル]にカーソルを移動して [デジタル放送]に設定します。設定が終わったら を押して20に進みます。

オフ:

自動で時計を修正しません。

デジタル放送:

デジタル放送を受信できるときに選びます(お買い上げ時の設定)。デジタル放送のデータに合わせて自動で時計を修正します。

アナログ放送:

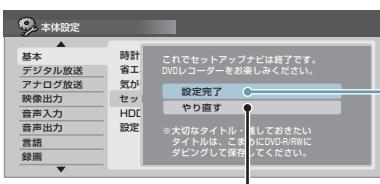
デジタル放送を受信しないときに選びます。[ジャストクロックチャンネル]をアナログ放送のNHK教育チャンネルに合わせてください。NHK教育チャンネルがわからないときは、セットアップナビを終了したあとにNHK教育チャンネルを確認して、[本体設定]の[時計合わせ] 操作ガイド P.99 で[ジャストクロックチャンネル]を設定してください。

20

接続するテレビを設定する



- お使いのテレビに合わせて設定してください。
- HDMIケーブルで接続しているときは21に進みます。
- すべての項目の設定が終了すると21の画面が表示されます。



セットアップナビを最初からやり直したいときに選びます。

21

[設定完了]を選んで決定する

続けて映っているチャンネルを確認してください。 P.28

映っているチャンネルを確認する

? 困ったとき
操作ガイド P.136

1 デジタル放送のチャンネルに切り換える



チャンネルが映らない、または映りが悪いときは、アンテナが正しく接続/設定されているか確認してください。地上デジタル放送用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。設定のしかたについては Q 操作ガイド P.120 をご覧ください。

2 アナログ放送に切り換える



アナログ放送の番組表を正しく表示するために ② ~ ⑪ の操作をしてください。

3 各チャンネルに映っている放送局を下記の表にメモする



→ チャンネルが映らない、またはチャンネルの映りが悪いとき

- 1 アンテナの接続(アンテナ端子の接触が悪くないか、またはアンテナの入力/出力の接続が逆になっていないか)を確認する Q P.11
- 2 ホームメニューから[本体設定]→[アナログ放送]→[自動チャンネル設定]→[オートスキャン]を選んで再度チャンネルを設定する Q 操作ガイド P.125



メモ



表示CH	映っている放送局名	表示CH	映っている放送局名
CH		CH	



映っている放送局がわからないとき

新聞のテレビ欄や普段お使いのテレビの映像と見比べて確認してください。

4 ホームメニューから[本体設定]を選んで決定する



5 [アナログ放送]→[個別チャンネル設定]→[次画面へ]を選んで決定する



気がきくナビ

本機の情報や予約するときの最適な設定を自動で表示したり、画面右下に が表示されているときに を押して各種情報や操作ガイドを参照できます。 Q 操作ガイド P.134

個別チャンネル設定			
リモコン	表示ch	受信ch	放送局名
1	1ch	---	
2	2ch	21ch	山口朝日
3	3ch	---	
4	4ch	4ch	山口放送
5	5ch	23ch	TVQ
6	6ch	---	
7	7ch	---	
8	8ch	---	
9	9ch	39ch	NHK総合
10	10ch	10ch	TNC
11	11ch	11ch	
12	12ch	---	

6 設定内容を確認する

- ③ で記入したメモの[表示 ch]が[個別チャンネル設定]画面にあるかどうか確認します。また、その[表示 ch]の[放送局名]がメモと合っているか確認します。
- すべてメモと合っているときは ⑪ に進んでください。
 - [放送局名]がメモと合っていない、または空欄になっているときにはチャンネルを再設定します。⑦ に進んでください。

7 再設定する[表示 ch]を選んで決定する



地域	地域コード		表示チャン		
			1	2	3
山口	105	NHK教育	1 90	山口朝日	28 28
		NHK教育	41 90	山口	21
		NHK教育	14 90	山口朝日	31 28
宇部	107	ガイドチャンネル			

8 再設定したい[放送局名]のガイドチャンネルを確認する

『地域別地域コード・放送局一覧』 P.32 をご覧になり、お住まいの地域または最寄りの地域で、③ で記入した放送局のガイドチャンネルの数字を確認します。

9 [ガイドチャンネル]を設定する

でカーソルを[ガイドチャンネル]に移動して、でガイドチャンネルを ⑧ で確認した数字に変更します。

10 [終了]を選んで決定する

リモコン	11
表示チャンネル	11ch
受信チャンネル	11ch
放送局名	
ガイドチャンネル	90
スキップ	しない
放送局名表示	オン
周波数微調整	0
終了	

11 設定を終了する



→ 不要なチャンネルを削除したいとき

詳しくは 操作ガイド P.127 をご覧ください。



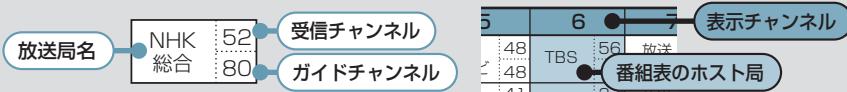
ガイドチャンネルとは

Gコードシステムでの予約録画に使うチャンネルです。放送局ごとに指定されています。
また、番組表を取得するときも使います。

表のみかた



番組表のホスト局が受信できないときは、
番組表の取得ができません。



地域	地域コード	表示チャンネルと放送局名															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
広島	101	テレビ新広島	31 31		NHK総合	3 80	中国放送	4 4		NHK教育	7 90		広島ホーム	35 35			
	102	テレビ新広島	54 31		NHK教育	3 90		NHK総合	5 80	中国放送	7 4		広島ホーム	57 35			
	103	NHK総合	1 80	テレビ新広島	26 31					NHK教育	7 90		広島ホーム	24 35			
	104	NHK教育	1 90	テレビ新広島	26 31			広島テレビ	5 12		中国放送	9 4	広島ホーム	24 35			
山口	105	NHK教育	1 90	山口朝日	28 28	広島ホーム	35 35	RKB	4 4	TVQ	19 19		テレビ山口	38 38			
	106	NHK教育	41 90	山口朝日	21 28		山口放送	4 11	TVQ	23 19		テレビ山口	33 38				
	107	NHK教育	55 90	山口朝日	24 28							テレビ山口	44 38				
	108	NHK教育	1 90	山口朝日	28 28							テレビ山口	22 38				
徳島	109	四国放送	1 1	テレビ大阪	19 19	NHK総合	3 80	毎日放送	4 4	TV和歌山	30 30	ABCテレビ	6 6	サンテレビ	36 36		
香川	110	TVせとうち	19 23		NHK教育	39 90	毎日放送	4 4	NHK総合	37 80	ABCテレビ	6 6	瀬戸内海	33 33			
	111	TVせとうち	16 23		NHK教育	40 90		NHK総合	44 80				瀬戸内海	42 33			
	112	TVせとうち	23 23	NHK教育	2 90	広島テレビ	12 12	広島ホーム	35 35	テレビ新広島	31 31	NHK総合	6 80	愛媛朝日	25 25		
	113	TVせとうち	23 23	NHK総合	2 80	広島テレビ	12 12	NHK教育	4 90	テレビ新広島	31 31	南海放送	6 10	愛媛朝日	14 25		
愛媛	114			NHK総合	32 80			NHK教育	30 90			南海放送	34 10	愛媛朝日	17 25		
	115	NHK教育	1 90					NHK総合	6 80		NHK教育	6 25	愛媛朝日	16 25			
	116					NHK総合	4 80			NHK教育	6 90	高知放送	8 8		高知放送	8 8	
														テレビ高知	38 38		
高知														さんさんTV	40 40		
	117	KBC	1 1	STS	36 36	NHK総合	3 80	RKB	4 4	TVQ	19 19	NHK教育	6 90		TNC	9 9	
	118	KBC	57 1	STS	36 36	NHK総合	46 80	RKB	48 4	TVQ	14 19	NHK教育	54 90			RKK	11 11
	119	KBC	58 1	STS	36 36	NHK総合	53 80	RKB	61 4	TVQ	19 19	NHK教育	50 90		TNC	60 9	
福岡	120	KBC	2 1	FBS	35 37					TVQ	23 19	NHK総合	6 80	RKB	8 4		
	121			KBC	57 1	FBS	43 37			TVQ	19 19	NHK総合	49 80	RKB	60 4		
	122	KBC	57 1	NHK教育	40 90	FBS	52 37	STS	36 36	TVQ	14 19	TKU	34 34	NBC	5 5		
	123	KBC	57 1	NHK教育	40 90	FBS	52 37	STS	36 36	TVQ	14 19	TKU	34 34	NBC	5 5		
佐賀	124	NHK教育	1 90	KBC	57 1	NHK総合	3 80	RKB	4 4	NBC	5 5	TKU	34 34	NIB	25 25		
	125			NHK教育	2 90					NBC	17 25	TNC	9 80	NCC	31 27		
	126	NHK教育	45 90		NHK総合	47 80		NBC	49 5		NIB	20 25		NCC	24 27		
	127	KBC	1 1	NHK教育	2 90	KAB	16 16	KKT	22 22	NBC	5 5	TKU	34 34	KAB	48 4		
大分	128	OAB	24 24	テレビ山口	38 38	NHK総合	3 80	RKB	4 4	OBS	5 5	南海放送	10 10	TOS	36 36		
	129	OAB	17 24		NHK総合	48 80		OBS	51 5		TOS	37 36		FBS	37 37		
	130	MBC	1 1		テレビ宮崎	35 35					KKB	32 32	NHK総合	8 80			
	131	MBC	1 1	NHK教育	2 90	NHK総合	4 80			富崎放送	6 10	KKB	32 32				
鹿児島	132	MBC	1 1	TKU	34 34	NHK総合	3 80	テレビ宮崎	35 35	NHK教育	5 90	宮崎放送	10 35	KKB	22 22		
	133			TKU	34 34			KKB	23 32	KYT	17 30	KTS	38 38	KYT	11 11		
	134			NHK教育	2 90	NHK総合	4 80			KTS	35 38	KKB	31 32	KYT	12 25		
	135			NHK総合	2 80							KTS	33 38		30		

*3 平成18年9月にチャンネルが変更される予定です。

*4 平成18年3月にチャンネルが変更される予定です。

*5 平成18年8月にチャンネルが変更される予定です。

地域別地域コード・放送局一覧

ここが知りたい！<Q&A>

ここでは、本機を使用する上での基本的な説明を取り扱いながらQ&Aでまとめてあります。詳細は取扱説明書／操作ガイド(別冊)をご覧ください。



デジタル放送の1回だけ録画可能な番組を録画してダビングできる？

- ★ デジタル放送はHDDまたはCPRM対応のDVD-R/RW(VRモード)に録画できます。[操作ガイド P.29](#)
- ★ HDDに録画した1回だけ録画可能な番組は、DVDにダビングしたあとHDDから自動で消去されます。また、ダビング先のDVDに録画された番組はコピー禁止になります。HDDや他のデジタル録画機器にはダビングできません。[操作ガイド P.86](#)
- ★ DVDに録画した1回だけ録画可能な番組は、HDDや他のデジタル録画機器にはダビングできません。[操作ガイド P.29](#)



ハイビジョン放送をそのままの画質で録画できる？

- ★ HDDの[HD/SD録画(TS)]領域に録画できます。
- ★ DVDにはハイビジョン画質で録画できません。録画モードで設定した画質になります。[操作ガイド P.27](#)



5.1チャンネルなどのサラウンド音声をそのまま記録できる？

- ★ HDDの[HD/SD録画(TS)]領域に記録できます。5.1チャンネルなどのサラウンド音声を楽しむときは、MPEG-2 AACデコーダー搭載のAVアンプと本機を光デジタルケーブルで接続してください。[P.23](#)
- ★ DVDには5.1チャンネルなどのサラウンド音声は記録できません。2チャンネル音声に変換して記録されます。また、HDDに録画した5.1チャンネルなどのサラウンド音声の番組をDVDにダビングすると、音声は2チャンネルになります。



録画中に他の番組を見られる？

- ★ デジタル放送の番組を[HD/SD録画(TS)]領域に録画中は、アナログ放送の番組を視聴できます(デジタル放送は録画している番組のみ視聴できます)。
- ★ デジタル放送の番組を[VR/ビデオ録画(PS)]領域に録画中は、録画している番組のみ視聴できます。
- ★ アナログ放送の番組を録画中に、デジタル放送の番組を視聴できます(アナログ放送は録画している番組のみ視聴できます)。



放送時間の重なっている番組を同時に録画できる？

- ★ デジタル放送の番組を[HD/SD録画(TS)]領域に録画中に、アナログ放送の番組を[VR/ビデオ録画(PS)]領域またはDVDに録画できます。[操作ガイド P.29](#)
- ★ デジタル放送の番組を[VR/ビデオ録画(PS)]領域に録画中は、アナログ放送の番組を同時に録画できません。
- ★ デジタル放送の2つの番組、またはアナログ放送の2つの番組は同時に録画できません。



二カ国語放送の主音声と副音声を切り換えられるように録画できる？

- ★ デジタル放送で複数の音声がある番組は、HDDの[HD/SD録画(TS)]領域に音声が切り換えられるように録画できます。[操作ガイド P.29](#)
- ★ デジタル放送の複数の音声がある番組で、音声が多重音声(主音声+副音声)のときのみ、DVDに音声を切り換えられるように録画できます。VRモードで[LPCM]以外の録画モードに設定して録画してください。[操作ガイド P.107](#)
- ★ アナログ放送の二カ国語放送をHDDに録画するときは、本体設定の[アナログ放送HDD記録モード]を[ビデオ互換オフ]に設定して[操作ガイド P.109](#)、[LPCM]以外の録画モードで録画してください。[操作ガイド P.107](#)
- ★ アナログ放送の二カ国語放送をDVDに録画するときは、VRモードで[LPCM]以外の録画モードに設定して録画してください。[操作ガイド P.107](#)



デジタル放送のラジオ番組やデータ放送を記録できる？

- ★ デジタル放送のラジオ番組や独立データ放送は記録できません。テレビ放送と同時に送られてくる連動データはHDDの[HD/SD録画(TS)]領域に記録できます。



CMカットなどの編集をしてDVDにダビングできる？

- ★ HDDに録画されている番組そのものを編集してから[操作ガイド P.72](#)、DVDにダビングしてください。[操作ガイド P.84](#)